

第99期 報告書

平成 22 年 4 月 1 日 ▶ 平成 23 年 3 月 31 日まで

BUSINESS
REPORT

株主の皆様へ

この度の東日本大震災におきまして、被災された皆様へ謹んでお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。ここに、小松精練株式会社の平成23年3月期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の業績についてご報告申し上げます。

株主の皆さまには、平素から格別のご支援を賜わり、厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新興国市場の経済発展に牽引され、企業収益は緩やかな改善傾向が見られましたが、世界的な金融不安の影響は依然として大きく、長引く円高と長期化するデフレの影響から雇用、所得の改善は進まず個人消費は低迷し、

先行き不透明な状況が続きました。さらに今年に入って中東情勢が不安定となり、原油・原材料の価格が高騰するなど、厳しさを増しました。

このような経営環境のなか、当社グループは事業の成長戦略として、国内外問わず市場セグメンテーションに基づいた商品戦略の強化による新規市場の開拓や、多角化に向けた新規事業などに経営資源の投入を行い、事業拡大を図りました。同時に激変する環境変化に対応したグローバル最適生産・最適販売を加速化させ、経営全般にわたる一層の効率化をはかり、利益体質の強化に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの連結業績は、売上高は、前期比8.8%増の34,430百万円となりました。利益面につきましては、収益性の高い新商品の拡大や粗原料などのグローバル調達などに努めた結果、営業利益は前期比70.3%増の1,375百万円、経常利益は前期比47.8%増の1,696百万円、当期純利益は前期比47.9%増の1,173百万円となりました。

この業績を踏まえ、当期の期末配当

金につきましては、普通配当は1株当たり6円とさせていただき、中間配当金と合わせた年間配当金は1株当たり12円となりました。

今後におきましては、円高や雇用・所得環境に対する先行き不安に加え、原油・原材料の価格高騰、さらには東日本大震災の影響により、原燃料の調達から最終製品の製造に至るサプライチェーンの混乱も見込まれ、先行き予断を許さない状況が続くと予想されます。当社グループは世界市場を見据えたグローバル戦略を推進し、市場に新しい価値の提供と既存の枠にとらわれず常に挑戦し続ける「挑戦と変革」を掲げ、経営基盤の強化と企業価値の向上に努める所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成23年 6月

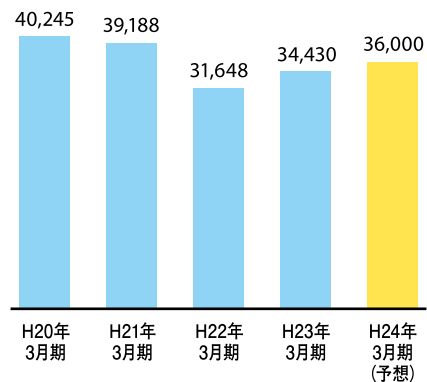
小松精練株式会社

代表取締役社長 池田 哲夫



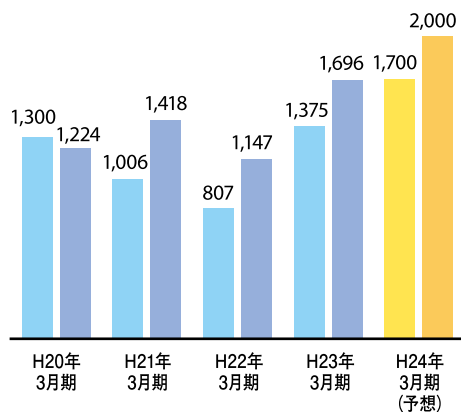
売上高

■ 売上高 (百万円)



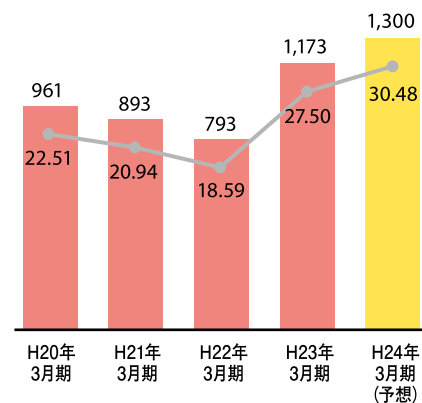
営業利益・経常利益

■ 営業利益 (百万円)
■ 経常利益 (百万円)



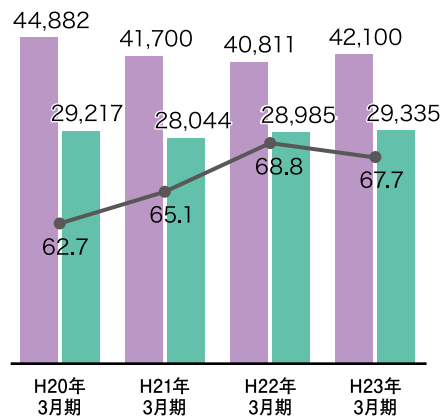
当期純利益・1株当たり当期純利益

■ 当期純利益 (百万円)
● 1株当たり当期純利益 (円)



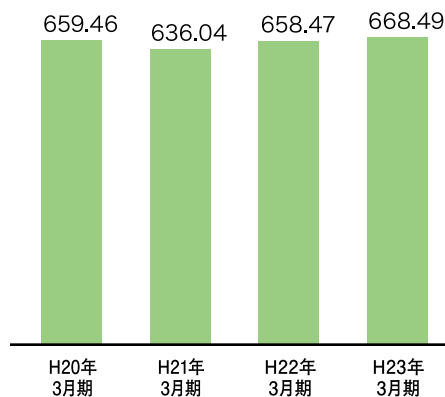
総資産・純資産・自己資本比率

■ 総資産 (百万円)
■ 純資産 (百万円)
● 自己資本比率 (%)



1株当たり純資産

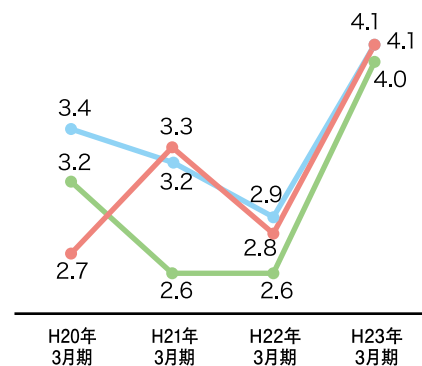
■ 1株当たり純資産 (円)



ROA・ROE・営業利益率

(%)

● ROA (経常利益 / 総資産)
● ROE (当期純利益 / 自己資本)
● 営業利益率



次期の見通し

今後の経営環境については、円高や雇用・所得環境に対する先行き不安に加え、原油・原材料の価格高騰、さらには東日本大震災の影響により、原燃料の調達から最終製品の製造に至るサプライチェーンの混乱も見込まれ、先行き予断を許さない状況が続くと予想されます。このような環境のなか、当社グループは世界市場を見据えたグローバル戦略を推進し、連結経営の強化と市場セグメンテーションに基づいた商品戦略を強化します。加えて、市場に新しい価値の提供と既存の枠にとらわれず常に挑戦し続ける「挑戦と変革」を掲げ、経営基盤の強化と企業価値の向上を図ってまいります。

具体的には、グループ内や国内外の有力企業、産官学との戦略的連携の強化を図り、感性・機能性の両面でグローバル・マーケット

に通用する先端ファブリックのスピーディな開発に努め、主力のファッション、スポーツ分野、並びに資材ファブリック部門において新素材の投入による積極的な事業推進を図ります。また、新興国市場における富裕層の増大を見越し、欧州、北米、中国を中心とした市場の深耕や新規開拓に加え、販売代理店との関係強化による海外市場への輸出拡大と、生機等の粗原料の輸入拡大までを含めた海外戦略を強化いたします。加えて、小松精練（蘇州）有限公司との連携によるグローバル最適生産・最適販売を加速させ、日中両極での世界市場拡大の加速化に努めます。

これらの取り組みを、グループ一丸となり推進することにより、平成24年3月期の業績を次の通り見込んでいます。

次期の見通し（平成24年3月期）		前期比
■ 売上高	36,000 百万円	4.6% 増
■ 営業利益	1,700 百万円	23.6% 増
■ 経常利益	2,000 百万円	17.9% 増
■ 当期純利益	1,300 百万円	10.8% 増

事業別売上状況

平成22年4月1日から平成23年3月31日

■ 繊維事業

衣料ファブリック部門は、日・中・韓・北米市場に対して影響力ある欧州市場に対し、当社が得意とする高感性・高機能素材の拡大による波及効果が絶大となり、ファッション分野、スポーツ分野が大幅に拡大しました。特に海外については為替の影響を受けるも、経営資源の積極的投入による国際営業部の補強と、グローバル最適生産・最適販売による効果が奏功して順調に拡大し、当部門は前年同期比増収となりました。

資材ファブリック部門は、旺盛な需要が継続している医療・福祉分野や、I T関連産業の復調を背景にI T向けの電材分野が拡大しました。一方、年度前半、政府の景気刺激策により国内自動車販売台数が堅調に推移したものの、後半はエコカー補助金の終了に伴う需要の減衰により、車両分野は微増、また、汎用カーテン・寝具からの戦略的縮小によりリビング分野が減少し、当部門は減収となりました。

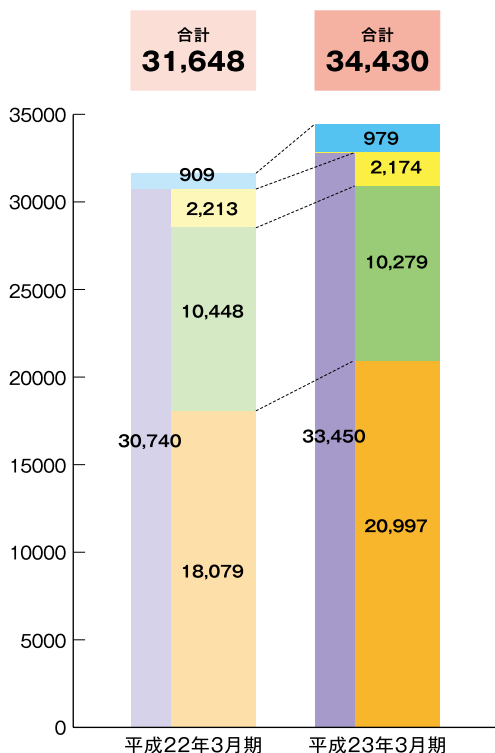
以上の結果、当連結会計年度の当事業の売上高は33,450百万円（前期比8.8%増）となりました。

■ その他事業

物流分野、並びに物販分野が堅調に推移し、当連結会計年度の当事業の売上高は979百万円（前期比7.6%増）となりました。

■ 事業セグメント別売上状況

単位：百万円

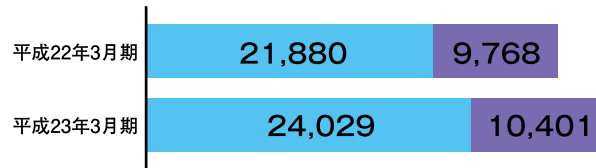


売上高合計	繊維事業	その他の事業
+2,782百万円 (8.8%増)	+2,710百万円 (8.8%増)	+70百万円 (7.6%増)
製品部門	資材ファブリック	衣料ファブリック
-38百万円 (1.7%減)	-169百万円 (1.6%減)	+2,919百万円 (16.1%増)

消費地別売上状況

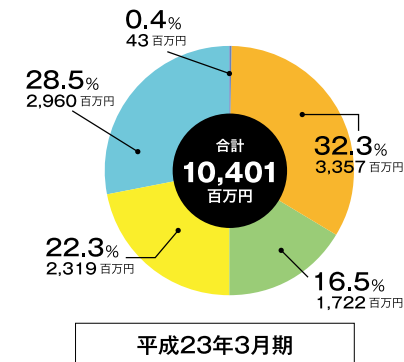
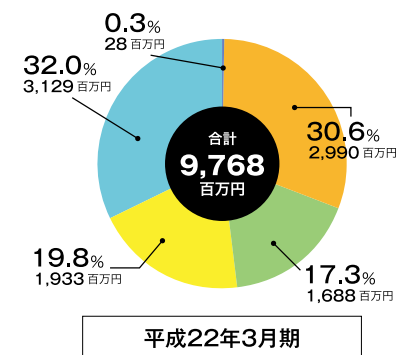
平成22年4月1日から平成23年3月31日

国内 海外 単位：百万円



■ 海外売上高の内訳

ヨーロッパ 北米 中・韓・台・東・東南アジア 中東 その他



■ 国内売上高

高感性・高機能差別化素材群の新規市場導入によりファッション・スポーツ分野が拡大しました。特に、ファッション、スポーツ分野や資材ファブリック分野での機能性特殊ニットやスポーツ・カジュアル分野での差別化軽量素材「カルバック」が大幅拡大しました。またファッション分野ではデジタルプリントファブリック「モナリザ」やスタンディングファブリック「KONBU」が新しい市場を開拓するなど、戦略商品は順調に拡大し、前期比9.8%増の24,029百万円となりました。

■ 海外売上高

為替の影響を受けるも、国際営業部の増強と、小松精練（蘇州）有限公司との連携によるグローバル最適生産・最適販売により順調に拡大しました。特に欧州マーケットについては、ファッション分野を中心に積極的に市場導入した、エレガントでドレスシーな新質感ファブリック「ハニービンテージ」が新規顧客開拓につながるとなど、大幅拡大いたしました。一方で、ドバイを中心とした中東経済の低迷を受け、民族衣装分野が低調に推移したものの、依然として高い市場占有率を維持しました。以上の結果、前期比6.5%増の10,401百万円となりました。

国際市場に通用する独自技術を用いた新商品を 国内外に向けて積極的に提案

小松精練は、国内外の有力企業、産官学との戦略的連携の強化を図り、グローバル・マーケットに通用する差別化商品の開発と市場セグメンテーションに基づいた商品戦略により、積極的に市場導入を推進しています。

衣料ファブリック関連は、従来の欧州中心の展示会出展に加え経済発展が著しい中国や韓国でも積極的に個展を開催しています。また資材ファブリック関連では、当社の得意とする高機能フィルム素材および環境材料「グリーンビズ」を国内外問わず積極的に提案を行っています。

当社は今後もグローバル・マーケットを見据えた商品戦略と市場導入を進め、世界中の人々から選ばれる企業を目指していきます。



2010年8月 スポーツファブリックコレクション



2011年2月 プルミエール・ヴィジョン



2011年5月 テクテキスタイル2011



2011年5月 2011 NEW環境展

開催月	場所	展示会名	分野
2010年 7月	東京・渋谷	Greenbiz Project Preview	環境材料 (グリーンビズ)
2010年 8月	大阪	スポーツファブリックコレクション	スポーツ衣料
2010年 9月	イタリア・ミラノ	単独個展	ファッション衣料
	フランス・パリ	プルミエール・ヴィジョン	ファッション衣料
2010年10月	名古屋	メッセナゴヤ2010	環境材料 (グリーンビズ)
	東京・幕張	第4回国際ガーデンEXPO	環境材料 (グリーンビズ)
	東京	東京デザイナーズ・ウィーク2010	環境材料 (グリーンビズ)
2010年11月	東京	I F F T展	環境材料 (グリーンビズ)
2010年12月	東京・南青山	KOMATSU COLLECTION (総合展)	ファッション衣料
	韓国・ソウル	単独個展	ファッション衣料
	東京	エコプロダクツ展	環境材料 (グリーンビズ)
2011年 2月	フランス・パリ	プルミエール・ヴィジョン	ファッション衣料
	イタリア・ミラノ	単独個展	ファッション衣料
2011年 3月	東京	建築・建材展2011	環境材料 (グリーンビズ)
2011年 4月	中国・深圳	単独個展	ファッション衣料
	東京	高機能フィルム技術展	フィルム関連・環境材料
2011年 5月	韓国・ソウル	単独個展	ファッション衣料
	ドイツ	テクテキスタイル2011	フィルム関連・環境材料
	東京	2011NEW環境展	環境材料 (グリーンビズ)
2011年 6月	東京	インテリアライフスタイルTOKYO	環境材料 (グリーンビズ)
	東京・南青山	KOMATSU COLLECTION (総合展)	ファッション衣料



三菱レイヨン株式会社との提携による

新トリアセテートブランド「tre.Dry」 ▶ 2011年6月

小松精練は、世界唯一の総合アセテート繊維メーカーである三菱レイヨン株式会社と提携を結び、該社のグループ会社である三菱レイヨン・テキスタイル株式会社と協力して、世界に誇るオンリー・ワン原糸であるトリアセテート糸を活用したオリジナルファブリックの新ブランド「tre.Dry」を立ちあげました。

この「tre.Dry」の最大の特徴は、当社の素材開発の企業集団である「チーム・コマツ」内で開発した、従来

に無いトリアセテートの糸加工、織り・編み組織と、当社の高次後加工技術が融合された独自性の高さです。既に欧州市場（特にイタリア・フランスを中心）に対して、当社の新しい素材軸としてプレワークを実施し、その評価は非常に高く、昨年1年間でおおよそ7万mの販売に繋がりました。

今後も小松精練は、国際市場に通用する斬新な素材開発に努め、市場拡大を図っていきます。

tre.Dry ▶

「tre.Dry」のtreはイタリア語で3を表し、

- ① 環境に配慮した製造工程
- ② 肌に触れたいくなる高感性
- ③ 用途に合わせた高度な機能性

この3つを特長としたDry感覚のファブリックという意味です

異業種連携による世界初の素材

耐熱性電磁波吸収シート「NIKRAM」 ▶ 2011年5月

小松精練は、FPC（フレキシブルプリント配線版）用材料のシェアトップクラスであるニッカン工業株式会社と共同で、耐熱性を有する電磁波吸収シートを開発し「NIKRAM」のブランドで製造・販売を開始いたしました。「NIKRAM」は絶縁フィルム／電磁波吸収層／保護シートの3層構造からなる電磁波吸収シートで、性能の要である「電磁波吸収層」に、当社の長年培われた薄膜製造技術と高度な電磁波対策技術が融合された、

耐熱性特殊フィルムが使用されています。

「NIKRAM」は電子部材業界における注目度も高く、耐熱性を必要とするプリント配線版実装行程にも対応可能なため、プリント基板、電子部品、電子ワイヤーなどのノイズ対策としてシールド対策に代わる画期的な新しい対策方法として活用が期待されています。



「節電」技術によるこれからの街づくり 小松精練が提案する“グリーンビズ・タウン”

地球温暖化現象、ヒートアイランド現象などの環境問題、さらには今夏、問題視されている電力不足問題、これらすべてを解決できる方法はないのだろうか？小松精練がたどり着いた答えは「節電」技術による、緑が溢れる人に優しい街づくり。産業廃棄物を有効活用したスポンジ状特殊セラミックス“グリーンビズ”は進化を遂げ、都市の快適を考える新素材として用途は拡大しています。環境問題だけでなく、熱中症対策としても優れた効果を発揮する“グリーンビズ”で、「節電」をもっと身近に、快適に取り入れてはいかがでしょうか？これが小松精練の提案する“未来の街づくり”。この考え方をジオラマで表したのが“グリーンビズ・タウン”です。



グリーンビズ

グリーンビズの主な原材料は、直径 $3\mu\text{m}$ のバイオマスケイク（多くの染色工場から排出される余剰微生物を含んだ産業廃棄物）、多孔質の珪藻土（七輪や住宅などに使われる火に強い自然素材）、粘土の3つ。この材料を混練し、 $1,000$ 度以上の温度で焼き上げると、保水・断熱効果に優れたスポンジ状の特殊セラミックス“グリーンビズ”に生まれ変わります。また、無機質・無害の素材を使用するため、破砕材は細かく砕いて土に戻すことができます。

グリーンビズ・タウンについて

環境問題を解決する、小松精練の節電技術を大人から子供まで、身近な材料としてより分かりやすく知ってもらう方法として作成したものがこのジオラマです。大きさは、東京ドームを150分の1の縮尺した広さに相当します。

概要

総面積（東京ドームと同一サイズを想定しています。）	46,746㎡
屋上及び壁面へ敷設したグリーンビズ	12,400㎡
歩道・広場・駐車場などに敷設したグリーンビズ	7,000㎡
高速道路・歩道などに敷設したグリーンビズ	6,900㎡

生み出される効果

削減される節電量	16.7kWh／年 一般家庭の1日の消費電力17,000戸相当
削減されるCO ₂ 量	116t／年 杉の木で換算すると8,200本に相当（林野庁HPより）

建物の屋上には

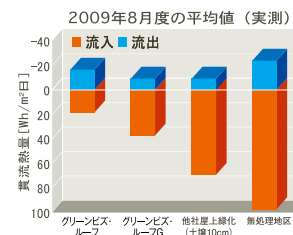
greenbīz® r oof

グリーンビズ・ルーフ



微細な空間群による断熱効果で節電・省エネに貢献

グリーンビズ・ルーフ内部の微細な空間群がデッドエア層となり、夏の流入後、冬の放出熱を減少させ、建物に負担をかけずに屋根温度の上昇や放熱を防ぎます。緑化したグリーンビズ・ルーフGの敷設によって、夏場は屋内への熱の流入を80%カットし、逆に冬場は屋内の暖気が外へ逃げる量を45%も抑える効果がある事が明らかになりました。グリーンビズ・ルーフのみでも従来の薄層屋上緑化と比較しても、2倍以上の断熱性で、空調費の節約につながります。



2m²で杉の木約1本分のCO₂削減

グリーンビズ・ルーフを敷設する事で削減できる二酸化炭素は一年間で6.3kg/m²。つまり2m²で杉の木一本と同じ二酸化炭素削減効果があります。グリーンビズ・ルーフを敷設する事は、街に木を植え、森を作る事に似ていると言えるかもしれません。

グリーンビズ・ルーフはセラミック基盤単体仕様
グリーンビズ・ルーフGはセラミック緑化基盤仕様



建物の壁には

greenbīz® W all

グリーンビズ・ウォール



均一な透性能で壁面灌水を簡素化

グリーンビズ・ウォールは、連通気孔を持つスポンジ状特殊セラミックスの均一な透水性能によって、上部からの点滴灌水で基盤全体に水が均一に拡がり、コケによる壁面緑化に最適です。

歩道や駐車場には

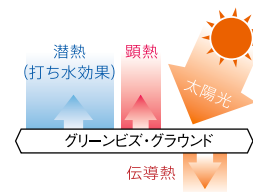
greenbīz® G round

グリーンビズ・グラウンド

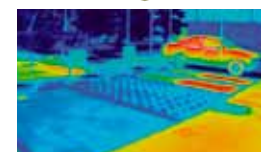


打ち水効果でヒートアイランド現象を抑制

グリーンビズ・グラウンドは、連通気孔を持つスポンジ状特殊セラミックスが水をしっかりキープする新しい吸水・保水ブロックです。優れた保水能力による打ち水効果でヒートアイランド現象を緩和します。



駐車場敷設の場合



2010年9月10日 正午

恵まれた自然と環境保護のために ▶ 2010年7月・10月

グループ社員・家族による海岸及び運動公園の清掃



小松精練グループは企業理念の一つである「地球・社会に貢献する」活動の一環として、毎年、夏に本社工場近隣の海岸清掃、秋には地元能美市内の運動公園の清掃を実施しています。

石川の恵まれた自然の保護と日頃の企業活動にご理解いただいている地域の方々への感謝の気持ちを込め、毎回、1,000名以上のグループ社員およびその家族が参加し清掃を実施しています。これからも当社グループは事業を進めるだけでなく、企業市民としてさまざまな活動を通して社会貢献を目指していきます。

未来を担う子どもたちのために ▶ 2010年10月・11月

健全な心身と創造性豊かな人間形成の場所作り

平成22年10月、子どもたちにスポーツを通じて、「仲間を思いやり、互いに協力することの大切さ」を知り、健全な心身を育成して欲しいという主旨から、「小松精練チャレンジカップ2010 第5回能美市小学校対抗サッカー大会」を開催いたしました。大会当日には200人を超えるグループ社員がスタッフとして準備、運営にあたりました。

また11月には、子どもたちの研究や学習の成果を発表する機会を設ける事で学習に対する興味や関心を高め、創造性豊かな人間形成を図る目的で、能美市教育委員会が中心となって開催する「子どもマイスターウィーク」に協賛いたしました。当社グループの最新の商品を紹介するほか、技術開発本部が中心となり繊維の不思議や科学の面白さを伝える科学実験を行うなど、全面的に協力しました。

当社は、勉強やスポーツに一生懸命にがんばる子どもたちが、夢と希望をもって成長できるような地域貢献活動にこれからも積極的に取り組んでいきます。



連結貸借対照表の要旨

平成23年3月31日現在

単位：百万円

資産の部

科 目	当 期	前 期	増 減
■ 流動資産	25,383	23,315	2,068
現金及び預金	6,955	6,258	697
受取手形及び売掛金	8,070	7,691	378
有価証券	5,380	4,859	520
たな卸資産	4,553	4,054	498
繰延税金資産	172	138	33
その他	335	396	△ 61
貸倒引当金	△ 83	△ 84	1
■ 固定資産	16,716	17,496	△ 779
有形固定資産	8,184	8,631	△ 447
建築及び構築物	3,252	3,470	△ 217
機械装置及び運搬具	2,581	2,757	△ 176
土地	2,132	2,132	
建設仮勘定	63	86	△ 22
その他	154	185	△ 30
無形固定資産	226	284	△ 57
■ 投資その他の資産	8,305	8,580	△ 275
投資有価証券	6,775	6,922	△ 147
繰延税金資産	1,265	1,350	△ 84
その他	287	329	△ 42
貸倒引当金	△ 22	△ 22	0
資産合計	42,100	40,811	1,288

負債の部

科 目	当 期	前 期	増 減
■ 流動負債	8,594	7,196	1,398
支払手形及び買掛金	6,515	5,338	1,177
短期借入金	310	510	△ 199
未払法人税等	114	256	△ 142
賞与引当金	297	205	92
その他	1,357	886	471
■ 固定負債	4,170	4,629	△ 459
退職給付引当金	3,640	4,071	△ 430
役員退職慰労引当金	371	392	△ 20
環境対策引当金	11		11
その他	146	166	△ 20
負債合計	12,764	11,826	938

純資産の部

科 目	当 期	前 期	増 減
■ 株主資本	28,788	28,128	659
資本金	4,680	4,680	
資本剰余金	4,720	4,720	
利益剰余金	19,604	18,939	664
自己株式	△ 217	△ 212	△ 5
■ その他の包括利益累計額 (前期：評価・換算差額等)	△ 277	△ 34	△ 243
その他有価証券評価差額金	△ 19	94	△ 114
為替換算調整勘定	△ 258	△ 128	△ 129
■ 少数株主持分	824	891	△ 66
純資産合計	29,335	28,985	349
負債・純資産合計	42,100	40,811	1,288

連結損益計算書の要旨

単位：百万円

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

科 目	当 期	前 期	増 減
■ 売上高	34,430	31,648	2,781
売上原価	28,279	26,192	2,087
売上総利益	6,150	5,456	693
販売費及び一般管理費	4,774	4,648	125
■ 営業利益	1,375	807	568
営業外収益	405	368	36
受取利息	46	60	△ 14
配当金	70	64	5
持分法投資利益	168	107	61
その他	120	135	△ 15
営業外費用	85	28	56
支払利息	5	9	△ 4
為替差損	67	4	63
その他	12	14	△ 2
■ 経常利益	1,696	1,147	548
特別利益	11	258	△ 246
固定資産売却益	2		2
投資有価証券売却益		7	△ 7
国庫補助金収入		232	△ 232
その他	9	19	△ 9
特別損失	164	227	△ 62
固定資産売却損	5	10	△ 5
投資有価証券売却損	92		92
固定資産圧縮損		201	△ 201
その他	66	14	51
■ 税金等調整前当期純利益	1,543	1,179	364
法人税、住民税及び事業税	232	260	△ 28
法人税等調整額	128	110	17
少数株主損益調整前当期純利益	1,182	—	—
少数株主利益	9	14	△ 5
■ 当期純利益	1,173	793	379

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

単位：百万円

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

科 目	当 期	前 期	増 減
■ 営業活動によるキャッシュフロー	2,254	2,832	△ 577
税金等調整前当期純利益	1,543	1,179	364
減価償却費	1,285	1,493	△ 207
引当金の増減額（減少：△）	△ 327	△ 338	11
売上債権の増減額（増加：△）	△ 404	1,084	△ 1,489
仕入債務の増減額（減少：△）	1,209	△ 1,213	2,422
たな卸資産の増減額（増加：△）	△ 538	637	△ 1,175
法人税等の支払・還付（支払：△）	△ 372	54	△ 427
その他	△ 141	△ 64	△ 77
■ 投資活動によるキャッシュフロー	△ 635	△ 3,740	3,105
固定資産の取得による支出	△ 557	△ 897	339
固定資産の売却による収入	33	3	30
定期預金の預入・払戻（預入：△）	1,084	△ 1,280	2,364
有価証券の取得・償還（取得：△）	△ 1,400	△ 1,699	299
投資有価証券の取得・売却（取得：△）	△ 37	106	△ 144
その他	241	26	214
■ 財務活動によるキャッシュフロー	△ 707	△ 516	△ 191
短期借入金の純増減額（減少：△）	△ 189	△ 2	△ 187
配当金の支払額	△ 511	△ 511	0
その他	△ 5	△ 2	△ 3
■ 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 32	2	△ 35
■ 現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	878	△ 1,421	2,300
■ 現金及び現金同等物の期首残高	6,139	7,477	△ 1,338
■ 連結範囲の変更に伴う影響額		83	△ 83
■ 現金及び現金同等物の期末残高	7,018	6,139	878

連結株主資本等変動計算書の要旨

単位：百万円

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

当期

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
平成22年3月31日残高	4,680	4,720	18,939	△ 212	28,128	94	△ 128	△ 34	891	28,985
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 511		△ 511					△ 511
当期純利益			1,173		1,173					1,173
持分法の適用範囲の変動			4		4					4
自己株式の取得				△ 6	△ 6					△ 6
自己株式の処分			0	0	0					0
株主資本以外の項目の変動額						△ 114	△ 129	△ 243	△ 66	△ 309
連結会計年度中の変動額合計			664	△ 5	659	△ 114	△ 129	△ 243	△ 66	349
平成23年3月31日残高	4,680	4,720	19,604	△ 217	28,788	△ 19	△ 258	△ 277	824	29,335

前期

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等 合計		
平成21年3月31日残高	4,680	4,720	18,659	△ 210	27,849	△ 547	△ 160	△ 708	903	28,044
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 512		△ 512					△ 512
当期純利益			793		793					793
持分法の適用範囲の変動										
自己株式の取得				△ 2	△ 2					△ 2
自己株式の処分			△ 0	1	0					0
株主資本以外の項目の変動額						642	31	674	△ 12	662
連結会計年度中の変動額合計			280	△ 1	278	642	31	674	△ 12	941
平成22年3月31日残高	4,680	4,720	18,939	△ 212	28,128	94	△ 128	△ 34	891	28,985

発行済株式数・株主数

発行済株式数 ● 43,140,999 株

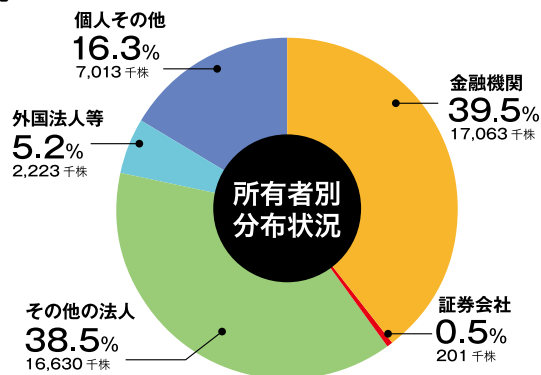
株主数 ● 3,441 名

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
東レ株式会社	2,649 千株	6.21%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,316 千株	5.43%
株式会社北國銀行	2,113 千株	4.96%
第一生命保険株式会社	1,550 千株	3.63%
日本生命保険相互会社	1,467 千株	3.44%
小松精練松栄会	1,373 千株	3.22%
株式会社北陸銀行	1,263 千株	2.96%
三菱商事株式会社	1,250 千株	2.93%
住友信託銀行株式会社	1,230 千株	2.88%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,139 千株	2.67%

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



役員・執行役員

平成23年6月24日現在

役 職	氏 名
代表取締役会長	中山 賢一
代表取締役社長	池田 哲夫
専務取締役	高木 泰治
常務取締役	山竹 俊樹
取 締 役	奥谷 晃宏
取 締 役	尾野寺 賢
取 締 役	中山 大輔
取 締 役	首藤 和彦
取 締 役	天雲 一裕
取 締 役	尾川 勝也
監 査 役	竹内 和也
監 査 役	石倉 幸雄
監 査 役	根上 健正
監 査 役	割出 雄一
執行役員	折本 忠
執行役員	向 潤一郎
執行役員	米谷 俊泰
執行役員	米澤 和洋
執行役員	金法 順正
執行役員	毛利 祥規
執行役員	茶谷 秀樹
執行役員	松尾 千洋

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-176-417
URL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
1単元の株式の数	1,000株
公告の方法	電子公告の方法により行います。 http://www.komatsuseiren.co.jp/investor/index.html 上記ホームページの「電子公告」をクリックして下さい。 ただし、電子公告によることができない事故 その他やむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式の買増・買取について

単元未満株式（1,000株未満の株式）をご所有の株主様は、単元株に不足する数の株式を当社から買増して単元株とすることができます。また、ご所有の単元未満株式の買取を当社にご請求することもできます。ご希望の場合、証券会社等の口座管理機関に口座を開設されている株主様は証券会社等宛に、特別口座にて管理させていただいている株主様は、特別口座の口座管理機関である住友信託銀行宛（上記の電話照会先）にお申し出ください。なお、手数料はいずれも無料となっております。

会社の概況

商 号	小松精練株式会社
設立年月日	昭和18年10月8日
資 本 金	46億8,042万円
本 社	〒929-0124 石川県能美市浜町ヌ167番地
本 社 工 場	同 上
美 川 工 場	石川県白山市鹿島町1号7番地 1
大阪営業所	大阪市中央区本町2丁目5番7号（大阪丸紅ビル 4階）
東京営業所	東京都中央区銀座3丁目9番7号（トレランス銀座ビルディング 8階）
北陸営業所	北石川県能美市浜町ヌ167番地（小松精練株式会社 本社 2 階）
上海事務所	中国・上海市延安西路2200号（上海国際貿易センター1913号）

グループ企業

小松精練（蘇州）有限公司 染色加工	中国・江蘇省蘇州市
株式会社ケイズテック 車輦内装材製造	石川県白山市
ケーエス染色株式会社 染色加工	石川県能美市
株式会社ヤマトヤ 繊維製品の企画製造販売	大阪市東住吉区
株式会社コマツインターリンク 包装・倉庫・運送	石川県能美市
小松エージェンシー株式会社 物販・総合サービス	石川県能美市

